



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

シンガポールの政策 観光政策編

2018年12月

一般財団法人自治体国際化協会 シンガポール事務所

目 次

1. シンガポールと観光の歴史
2. 観光誘客の現状
3. 政府観光局(STB)の取組み
4. 観光資源開発事例
5. 最新の動向

1. シンガポールと観光の歴史



■ 1960～1980年代

1964年	シンガポール政府観光振興局 (STPB: Singapore Tourist Promotion Board) 設立
1965年8月9日	マレーシアから分離独立、シンガポール共和国が誕生
1967年	「ガーデン・シティ政策」発表
1971年	「ジュロン・バードパーク」オープン
1972年9月1日	セントーサ開発公社 (SDC: Sentosa Development Corporation) 設立
1972年9月15日	マーライオン像の設置
1973年6月23日	「シンガポール動物園」開園
1974年	シンガポール・コンベンション・ビューロー設置
1978年	外国人観光客が年間200万人を記録
1981年12月29日	チャンギ国際空港開港
1986年	「観光資源開発計画」発表
1987年11月7日	MRT (Mass Rapid Transit) 開業



1. シンガポールと観光の歴史

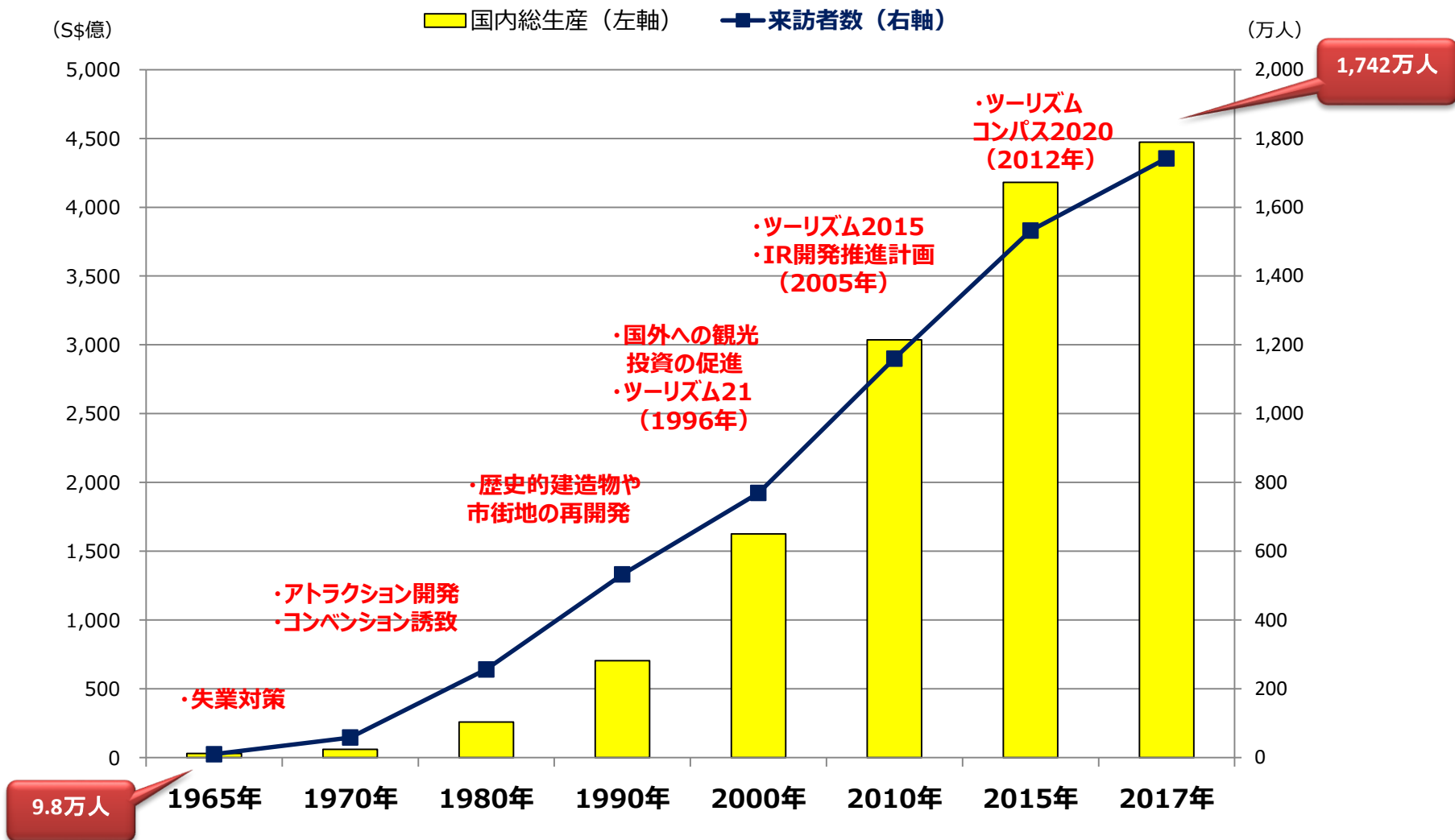
■ 1990年代以降

1994年	「ツーリズム・アンリミテッド」発表
1996年7月	「ツーリズム21」発表
1997年	インドネシア領ビンタン島に両国共同でリゾート施設建設
1998年	シンガポール政府観光振興局からシンガポール政府観光局(STB: Singapore Tourism Board)に名称変更
2002年9月15日	マーライオンが現在の位置に移転完了
2002年	「セントリーサ島再開発10か年計画」発表
2005年	「ツーリズム2015」、「IR開発推進計画」発表
2010年3月5日	新キャンペーン「Your Singapore」発表。ホームページ一新
2012年	「ツーリズム・コンパス2020」発表



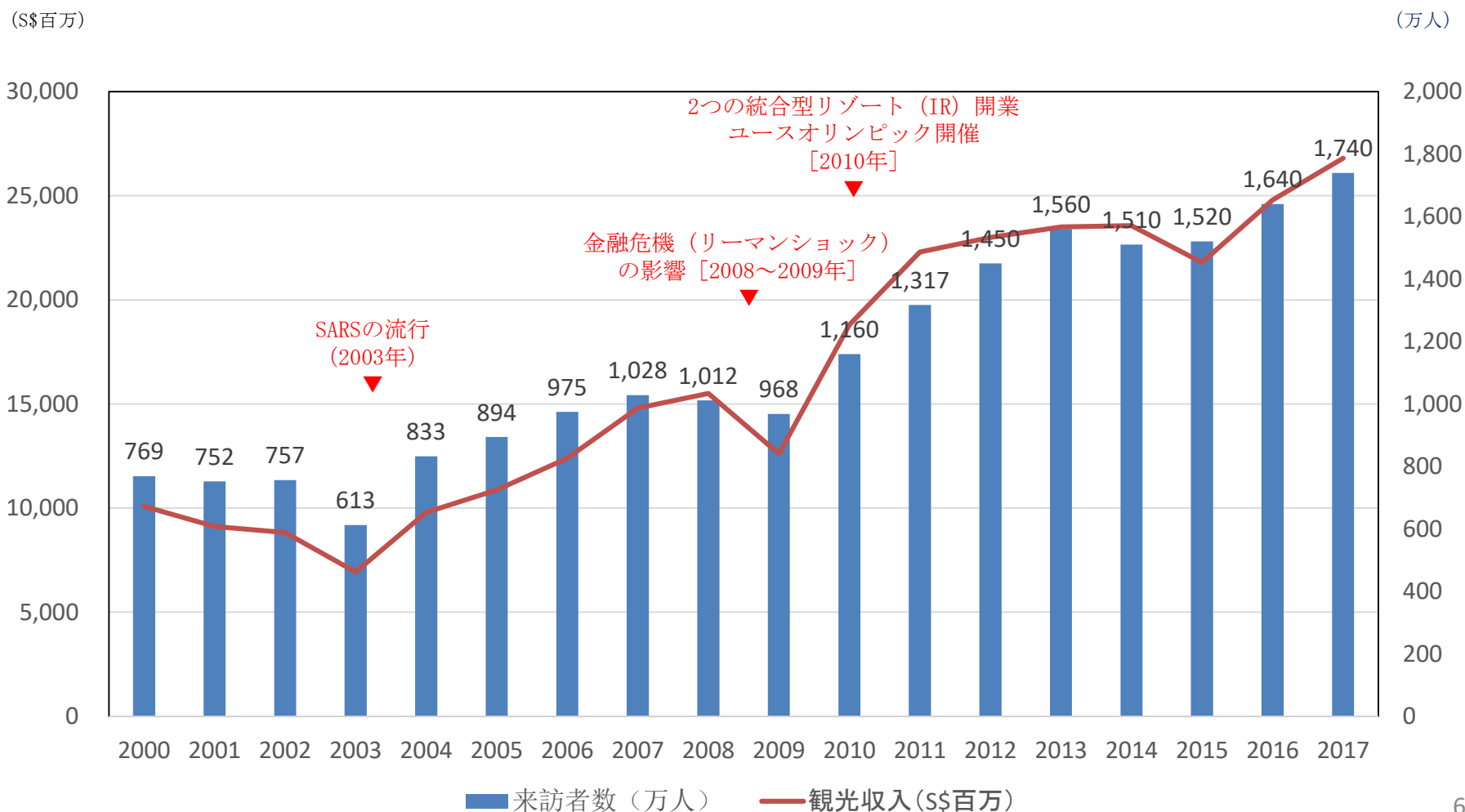
2. 観光誘客の現状

(1) シンガポールへの来訪者数の推移 [1965年（建国）～2017年]



2. 観光誘客の現状

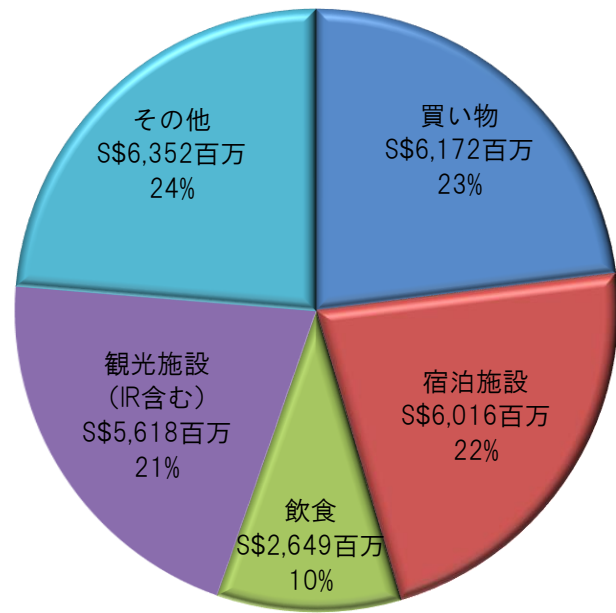
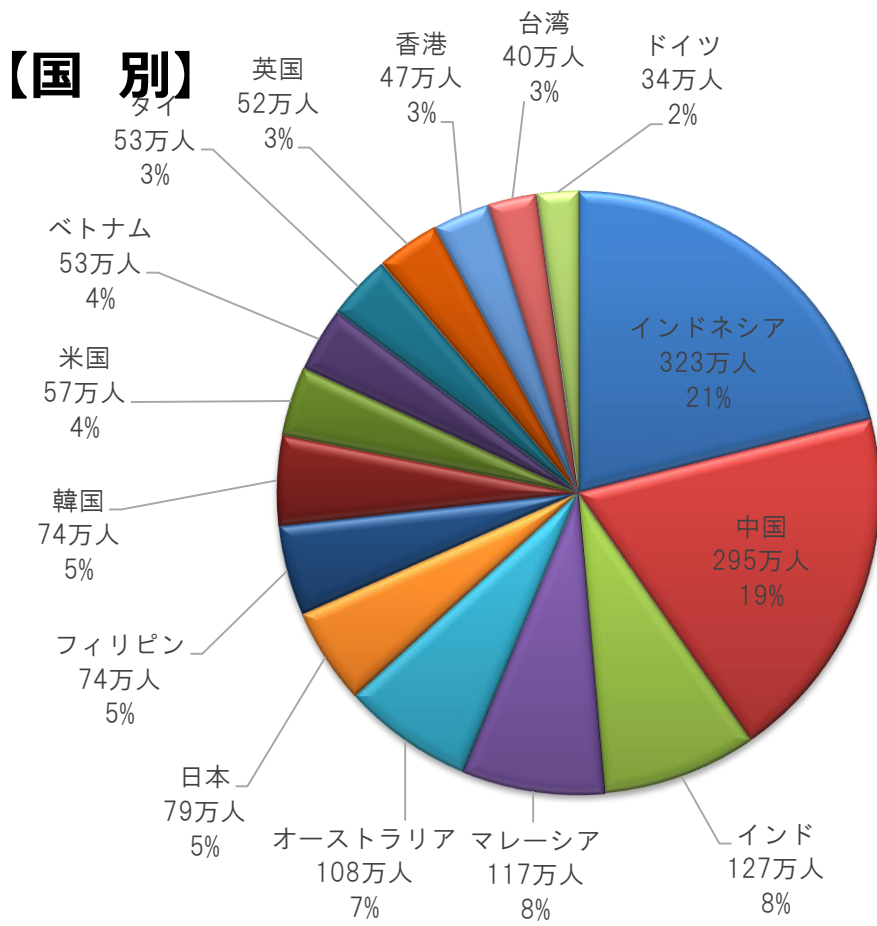
(2) シンガポールへの来訪者数と観光収入の推移 [2000年以降]



2. 観光誘客の現状

来訪者数の国・地域別内訳
 (2017年：1,740万人)

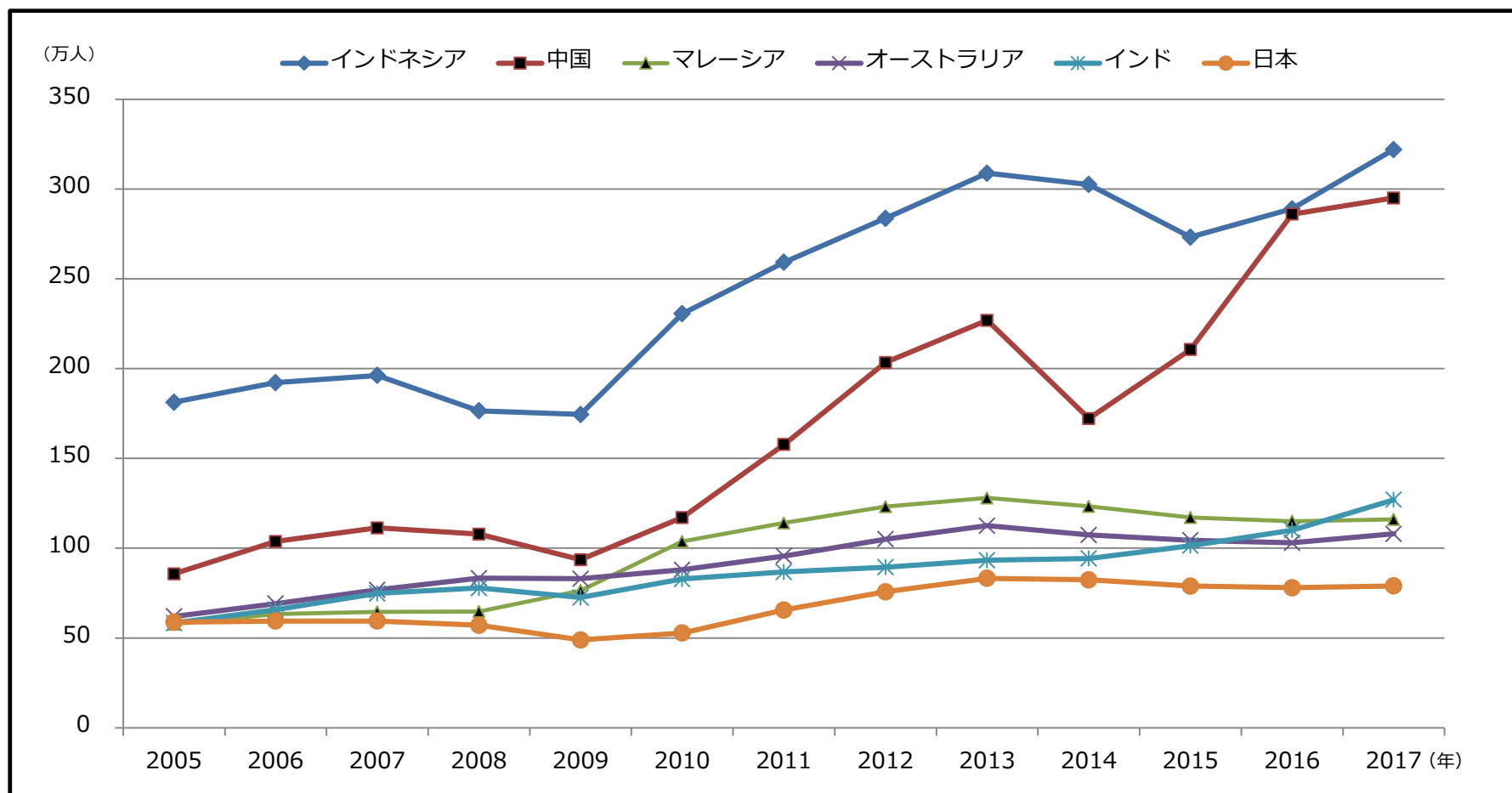
来訪者数の費目別旅行支出額
 (2017年：S\$268億)



参考：Tourism Year-in-Review 2016 (シンガポール政府観光局)

2. 観光誘客の現状

(3) 国別来訪者数（上位5か国＋日本）の推移 [2016年]

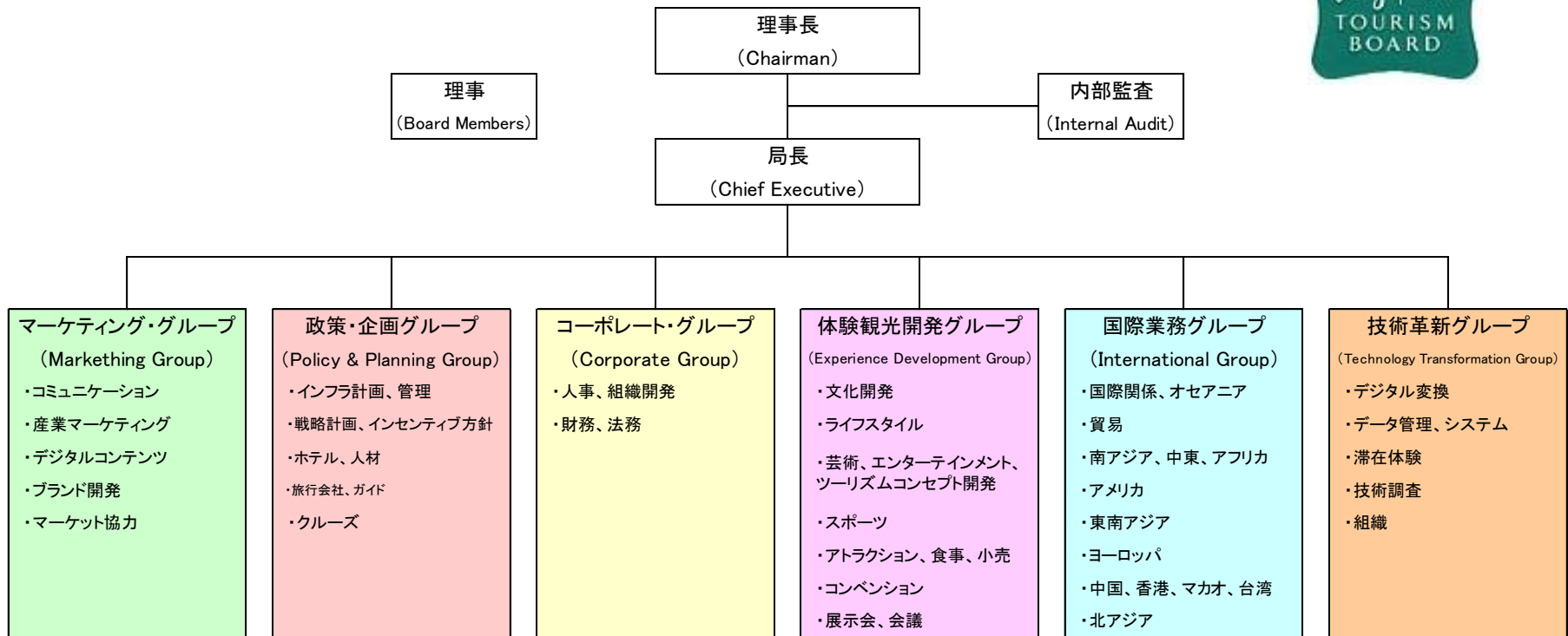


参考: Tourism Year-in-Review 2017 (シンガポール政府観光局)

3. 政府観光局 (STB) の取組み



(1) シンガポール政府観光局 (STB) の概要



出典: シンガポール政府観光局 (STB) ホームページ

シンガポール観光法
(Singapore Tourism Act)
に基づき、1964年に設立。

3. 政府観光局 (STB) の取組み



(2) 観光振興計画「Tourism 2015」

《目標》

	2004年	2015年目標	2015年実績
観光収入 (S\$億)	98	300	218
来訪者数 (万人)	833	1,700	1,520
観光業務雇用者数	150,000	250,000	283,578



《重点分野》

- アジアにおける **先進的な国際会議や展示会の開催場所としてのシンガポール**の地位をより強固なものにすること
- アジアを先導する観光地として **個性的な体験ができるシンガポールを**発展させること
- **教育・医療・金融**のサービス分野において、**質の良いサービスを提供**できるシンガポールを確立すること

3. 政府観光局（STB）の取組み



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

(3) 「Tourism Compass 2020」

「Tourism 2015」を補完する観光振興のためのロードマップ

《 4つの方針 》

- ①常に新しいオリジナル&エキサイティングなツーリズム
 - ・カランリバーサイドの再開発：公園、ホテル等を新設
 - ・マンダイ地区：生物多様性を学べる施設の拡充
 - ・ジュロンレイクサイド：家族向け娯楽施設の整備
- ②既存施設の再興・再開発
 - ・チャイナタウンのWi-Fi環境整備、レストラン街の改装
 - ・世界最大級のショッピングエリアとして、オーチャードロードを再開発
- ③国内のみならずアジアの活力を取り込む
 - ・アジアの中心となるクルーズ寄港地を目指したインフラ整備の実施
- ④国際競争力の向上
 - ・ベストホテル大臣賞、ベストレストラン大臣賞などを創設し、ホテル・観光業の人材育成を図る

3. 政府観光局 (STB) の取組み



(4) MICE産業の振興

MICE振興の中期振興計画「MICE 2020 Roadmap」

「MICEとは？」

Meeting, Incentive, Convention, Exhibitionの頭文字をとった造語。会議・研修・セミナー、招待・優待・視察、大会・学会・国際会議、展示会を核としたビジネス・トラベルの一形態。

「3つの主なコンセプト」

① Connected City

ビジネス旅行者がスムーズに行動できる。

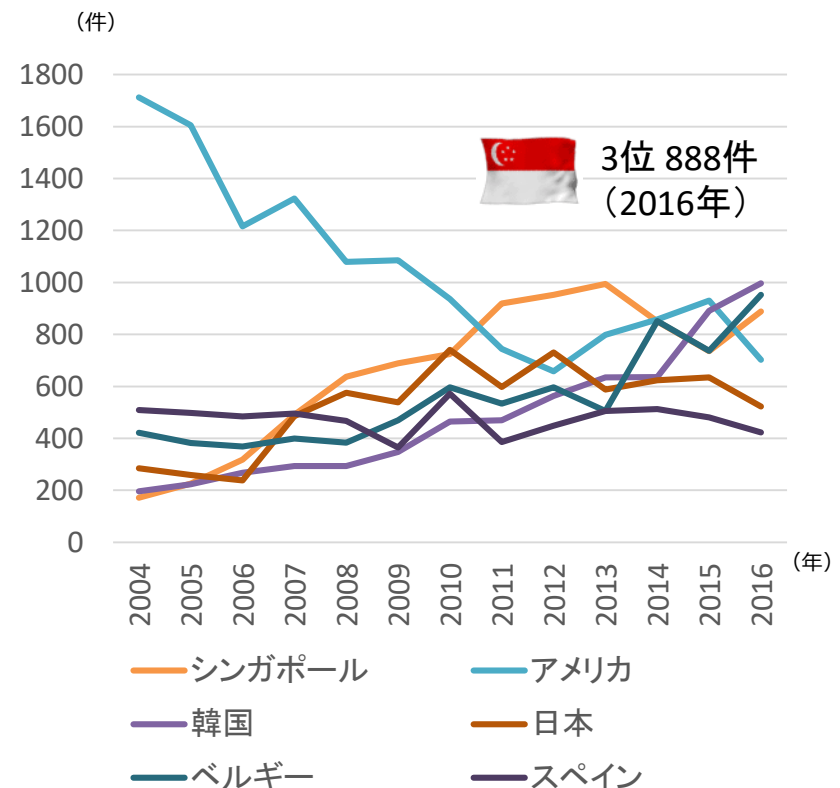
② Singapore MICE Experience

ビジネスイベント内外での体験プログラムの提供。

③ MICE HQ.SG

MICEに関するノウハウ、企業、協会の集積。

国際会議開催上位国の件数推移



出典: JNTO国際会議統計・Union Of International Associations(UIA)2016・STBウェブページ

3. 政府観光局 (STB) の取組み

(5) シンガポールの主なMICE施設



展示会・会議施設	規模 (m ²)
① マリーナ・ベイ・サンズ	120,000
② シンガポール・エキスポ	109,000
③ サンテック・コンベンションセンター	34,000
④ リゾートワールド・セントーサ	10,900
⑤ ラッフルズシティ・コンベンションセンター	6,500
(参考) 東京ビックサイト	80,000



→ 最優秀MICE都市賞 1 位に選ばれ続けている

出典: Your Singapore HP ・JETRO「シンガポール経済の動向」、各施設HP、クレアレポート、クレアメールマガジン

3. 政府観光局 (STB) の取組み



The Japan Council of Local Authorities for International Relations, Singapore

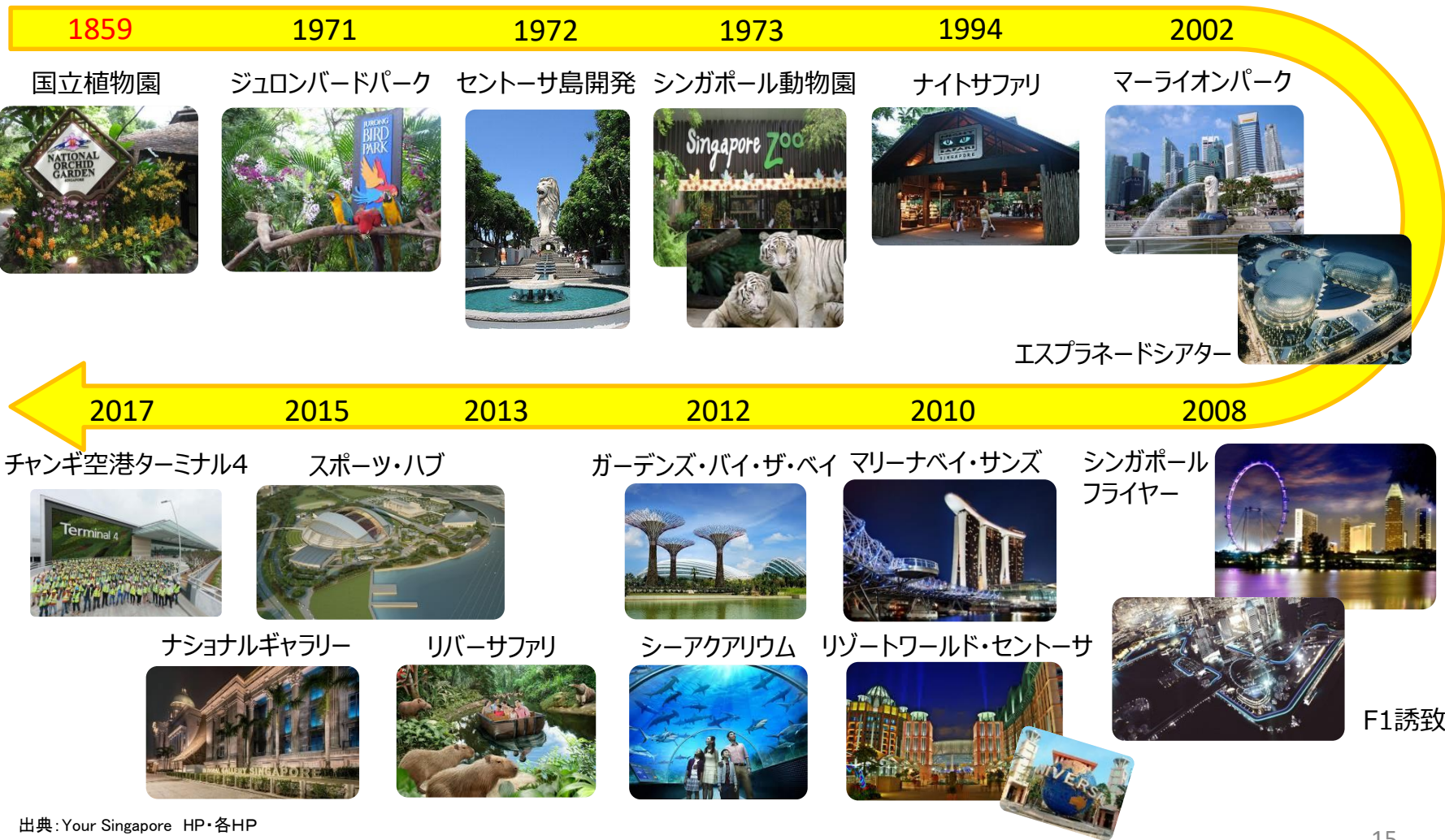
(6) Passion Made Possible

- 観光客誘致と投資誘致共通のスローガン
- 「シンガポールは情熱と可能性が現実になる場所」というコンセプトのもと、ストーリー性を重視
- ローカル文化を体験できるツアー等を提案



4. 観光資源開発事例

(1) シンガポールの観光資源開発



4. 観光資源開発事例

(2) ガーデنز・バイ・ザ・ベイ

総工費	約600億円		
オープン	2012年6月29日		
総面積	約101ha		
施設	エリア	規模	特徴
	ベイ・サウス・ガーデン	54ha	18本のスーパーツリー フラワードーム クラウドフォレスト
	ベイ・イースト・ガーデン	32ha	ウォーターガーデン
	ベイ・セントラル・ガーデン	15ha	3kmのウォーターフロントの歩道



都市構想のシフト

ガーデン・シティ構想



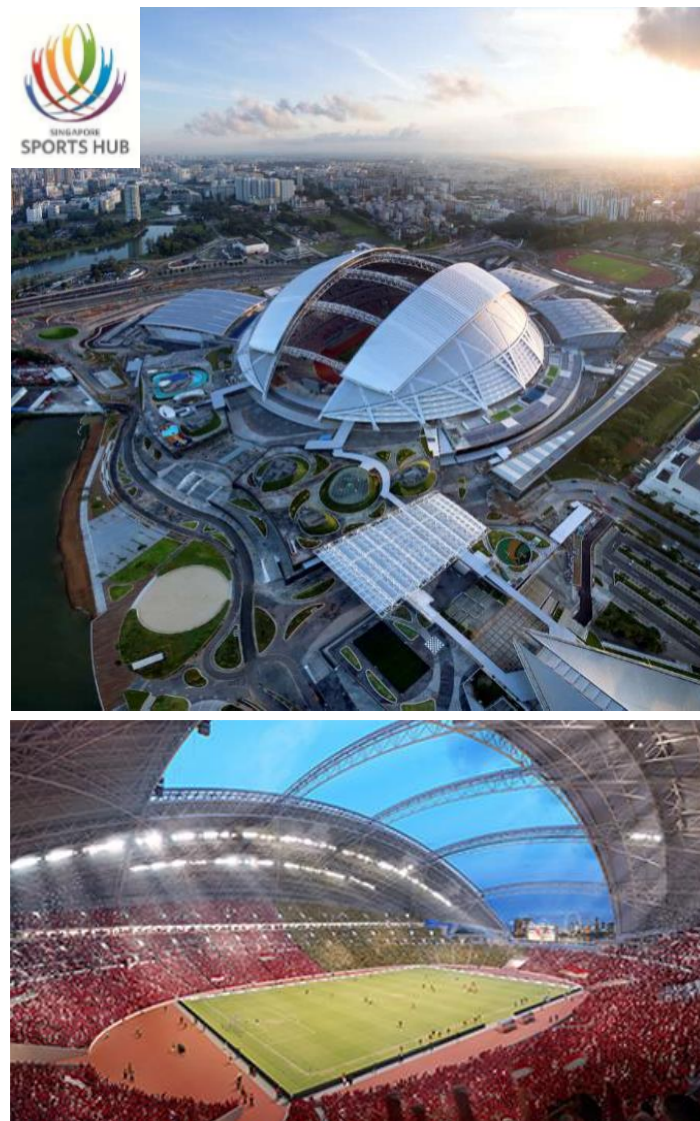
シティ・イン・ザ・ガーデン構想

出典: Gardens By the Bay HP・CLAIRメールマガジン(2012年10月配信)より作成

4. 観光資源開発事例

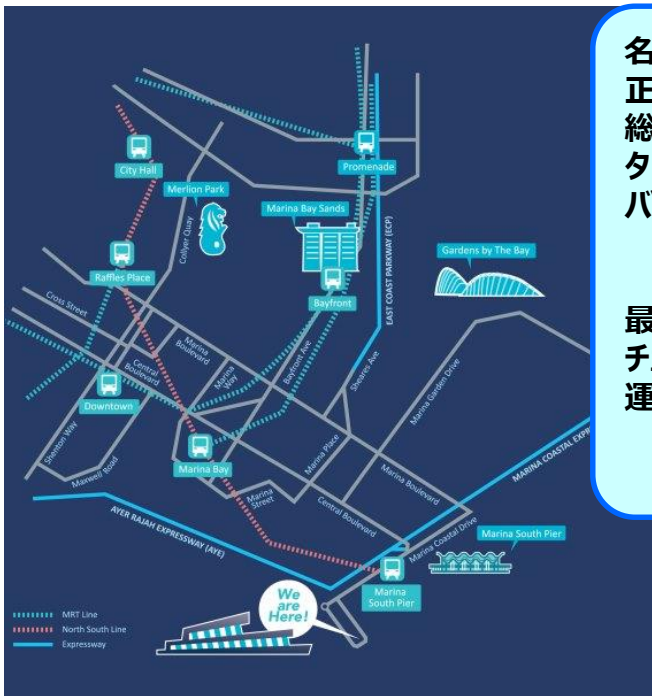
(3) シンガポール・スポーツ・ハブ

総工費	約1,090億円	
オープン	2015年7月26日	
総面積	約35ha	
施設	施設名	特徴
	ナショナル・スタジアム	最大収容人員：55,000人
	インドア・スタジアム	最大収容人員：12,000人
	OCBC アクアティック・センター	プール：50m×2、25m×1 最大収容人員：6,000人
	OCBCアリーナ	バスケットボールやバドミントン、卓球など 様々なスポーツを楽しめる多目的体育館 最大収容人員：3,000人
	ウォーター・スポーツ・センター	500mのレガッタ・コース（6レーン）
	カラン・ウェーブ・モール	4.1haの広さを持つショッピングモール



4. 観光資源開発事例

(4) クルーズ船の誘致推進



名称：マリーナベイ・クルーズセンター・シンガポール

正式オープン：2012年10月22日

総工費：5億シンガポール・ドル

ターミナルの広さ：28,000㎡

バース数：2（同時に2隻寄港可能）

バース1…最大延長335m、喫水11.5m

バース2…最大延長360m、喫水11.3m

最大乗客数：6,800人 ※2隻同時寄港時

チェックインカウンター数：80 出入国審査カウンター数：40

運営：SATS-Creuers Cruise Service社（所有はシンガポール政府観光局）

※チャンギ空港を運営しているSATS社と国際的なクルーズ船の運営会社である Creuers del Port de Barcelona S.A.社との合弁会社。



シンガポール・クルーズセンター
2012年にリニューアル・オープン

4. 観光資源開発事例

(4) クルーズ船の誘致推進



2020年までに
年間380万人
の利用者獲得を目指す！

フライ&クルーズ

海外からの観光客を増やすため、飛行機と船旅を組み合わせた旅行。

シンガポールでは、クルーズ船の到着後、ターミナルで同日に出発するフライトのアーリーチェックインが可能。スムーズにチェックインして荷物を預け、搭乗券を受け取ることができる。

手荷物を預けたまま、フライトの時間まで市内観光が可能。

5. 最新の動向

(1) 2018年の展望



【プラス要因】

- ・世界的な好景気
- ・アジア太平洋地域の観光需要の増加

【マイナス要因】

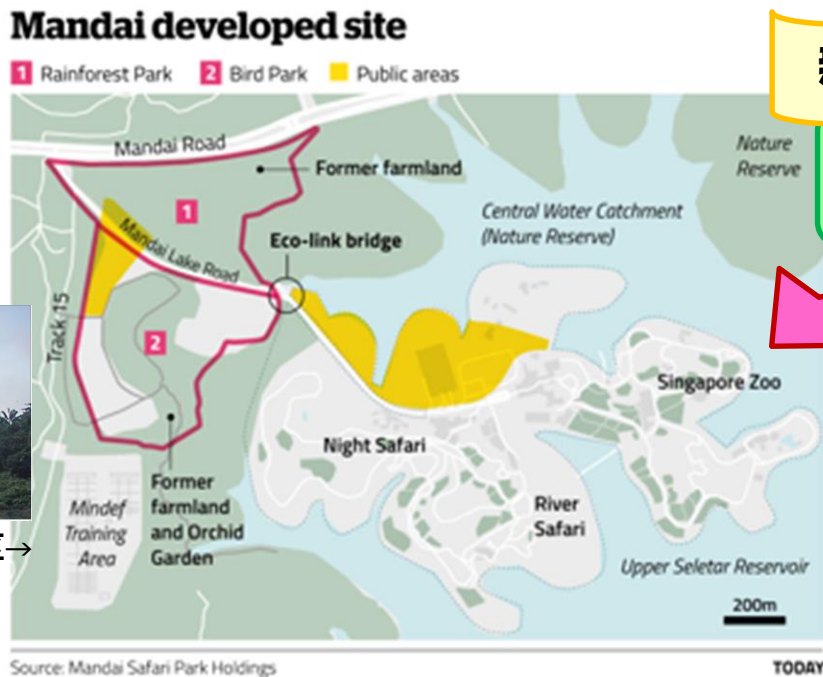
- ・地政学的な緊張
- ・地域間の競争

5. 最新の動向

(2) エコツーリズム・ハブへの再開発



マンダイ地区→



新規建設

レインフォレストパーク
2023年までにオープン予定



2020年
移転予定



シンガポール動物園
1973年オープン



ナイト・サファリ
1994年オープン



リバー・サファリ
2013年オープン



ジュロン・バードパーク
1971年オープン

～ ご清聴ありがとうございました ～

E N D



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore